

## 1970 高瀬弘一郎 (1936- ) / キリシタン宣教師の軍事計画 上

\* 僭越ながら私なりに、高瀬先生の精緻な論文を年月日順に、整理して纏めた。誤読、誤認による誤記もあると思う。

ネットに公開されているので、各自、原文を熟読して戴きたい。

### ○ 1948(昭和23)岡本良知 / 天正末に於ける耶蘇会の軍備問題 / 桃山時代のキリスト教文化

\* ガスパル・コエリョ (1527-1590) が日本に対する軍事行動を企ていた

1549 ザビエル (1506-1552) 鹿児島

1551 ザビエル、京都に赴くが戦乱のため、天皇、將軍も権威がないことを悟り、離日  
広東沖のサンショアン島で病死

1582 (天正 10)、ヴァリニャーノは九州三侯の少年四人をヨーロッパへ派遣した。

ヴァリニャーノ (1539-1606) はインドで留まり、日本語に通じたメスキータが使節の指導にあった。使節は、リスボア、マドリッド、ローマなど各地で熱狂な歓迎を受けた。

1587 (天正 15.06.19-20) 博多で発令、キリスト教宣教師を国外退去を命令 (バテレン追放令)

1590 (天正 18)、インド副王の資格で長崎へ帰国する。

1591 (天正 19)、聚楽第で、秀吉に謁した。千々石ミゲルは棄教し、他の三名も司祭になったが、病死、殉死した。

### ○ 宣教師の内部文書

・ローマ、イエズス会文書館

・セビーリャ、インド総合文書館

(雁註) 宣教師やキリシタン教会の書籍では、自分たちに都合の悪いことは書かれていない。その実態を把握するには、内部文書、つまりイエズス会のマル秘文書を読み解くしか方法がない。日本人、中国人 (当時、支那) の人々を野蛮人と書いている。これは支那人が、ポルトガル、スペイン人を南蛮人、南 (実は西方) の野蛮人と称したのと好対照である。

1569.07.08 セブー マルティン・デ・ラーダ (アウグスチノ会) 中国を征服する計画

1576.06.07 フィリピン デ・サンデ 中国に対して武力制服、軍隊派遣

1580.04.24 フィリピン デ・オルテガ 中国に使節を送る

1580.05.25 フィリピン 中国征服に対する強い意欲

1580.01-1640 スペイン国王フェリペ二世 ポルトガルを併合

1582.05 マカオ ポルトガルが併合され、忠誠を誓うように

・中国では、赤毛の人間が遠方から来て、国を奪うという予言があった

・中国はスペインの使者や贈り物を受け付けない。

・ポルトガル、スペイン人は、占領地域を拡大して、すべてに要塞を築いていく。

・ポルトガル人は、マカオにスペイン人が来るのを警戒していた。

1 生糸の貿易を独占

2 マカオを退去

1582.12.14 マカオ ヴァリニャーノ 中国征服の計画

・スペイン人がルソン島を占拠、以後、マカオの中国人官吏は警戒

アロンソ・サンチェス 中国征服のため、軍事訓練を積んでいる日本を重視する

・日本は武力で征服できない

1583.01.30 マカオ ペドロ・ゴメス 中国の福建の人々は、スペイン人、ルソンなど征服

1583.06.18 マニラ デ・サラサール

・中国に対する武力制服事業は正当である（デ・サンチェスの中国征服計画をもとに）

・...かの野蛮人ども（中国人のこと）

・... 入国と同時に殺されるか、永久に投獄される

・メキシコ、ペルー、フィリピンに同様に考えてはいけない

・野蛮人ども（中国人）はスペイン人の鉄砲隊を知らない

・中国を武力征服する時、日本のイエズス会の武士集団を利用する

・フィリピンのフランシスコ会が無断で中国に渡った...托鉢修道士は間者（かんじゃ）だと確信

1583.06.20 フィリピン総督・ロンキーリョが中国征服を計画

・8,000人のスペイン兵、10-12艘のガレオン船の艦隊で充分

1583.06.25 マカオ カブラルがスペイン国王宛（中国征服を強く勧告している）

\* ヴァリニャーノにより、カブラルは布教長の職を解かれた

・中国を征服すれば、1億5千万人の年貢がスペイン国王のものとなる

・中国全土に青銅の弾丸は一つもない。

・中国征服に際し、日本のイエズス会のキリスト教徒が助力するだろう。

・イエズス会のルジェリ羅明堅、リッチ利瑪竇らも力になる。

1584.06.27 マカオ サンチェスが国王宛に送った書簡

・アルカラ、サラマンカで暇つぶしのような無駄な議論より、現地の人々の見解の採用を望む

1584.07.05 マカオ サンチェス、イエズス会（コエリョ宛）中国征服

・説教により、中国人を改宗させることは不可能であるから、武力で制服すべきである。

・メキシコ、ペルーと同様、武力で国土を制服して、改宗させる。

1584.09.17 松浦法印 フィリピン総督宛 スペイン、総督の命令に従う

1585.03.03 有馬 コエリョがセデーニョ宛（フィリピン、イエズス会の上長）

・日本への軍隊派遣を求めた 兵隊、弾薬、大砲、兵隊のための食糧、3-4艘のフラガータ船

・日本人を利用して、中国征服をする。

・小西行長、平戸王（松浦）などキリシタン教徒が、中国に対して、武装兵隊を差し向ける

1587 秀吉、バテレン追放令を発する

1588.03.01 マカオ マンリーケ（アウグスチノ会） スペイン国王宛 日本の王達に働き掛ける

・松浦（平戸）、小西行長（ドン・アウグスチン）ら、キリシタン大名の軍事援助が期待できる

●キリシタン大名 生年順

・京極高吉（1504-1581） \* たかよし

・三ヶ頼照（1516-1575） \* サンチョ

・小西隆佐（1520-1593） \* 棄教

・有馬義貞（1521-1577） \* 純忠の兄

・大友宗麟（1530-1857） \* フランシスコ 天正遣欧使節の伊東マンショ

- ・高山飛騨守（1531-1596） \* 友照
- ・大村純忠（1533-1587） \* ドン・バルトロメオ 天正遣欧使節の中浦ジュリアン
- ・池田丹後守教正（1540s-1595） \* シメアン
- ・一条兼定（1543-1585）
- ・黒田孝高（1546-1604） \* よしたか 棄教
- ・高山右近（1552-1615） \* マニラに流される
- ・蒲生氏郷（1556-1595） \* 棄教
- ・小西行長（1558-1600） \* 棄教
- ・伊東祐兵（1559-1600） \* 棄教 すけただ
- ・細川忠興（1563-1645） \* 忠興は受洗しない
- ・細川たま（1563-1600） ガラシャ 忠興の妻
- ・有馬晴信（1567-1612） \* 棄教 天正遣欧使節の千々石ミゲル 原マルチノ
- ・小早川秀包（1567-1601） \* 棄教 ひでかね
- ・大村喜前（1569-1616） \* 棄教 よしあき

○秀吉(1537-1598)による宣教師追放令発令の原因

- 1 イエズス会の日本への領土的野心説
- 2 キリシタン勢力の本願寺的性格（一向一揆）説
- 3 キリシタンが日本の国法、伝統、宗教を否定するものであったという日本神国説
- 4 ポルトガル船の博多湾への廻航拒絶、ポルトガル人の日本人奴隷売買、不品行などポルトガル商人の失策説
- 5 秀吉側近の施薬院全宗（1528-1596）ら反キリシタン勢力による画策説
- 6 キリシタン勢力の神社、仏寺破壊など、過激な活動によるものとする説
- 7 教会領長崎の没収を目的とする説
  - \* 各地の教会は没収、破壊された